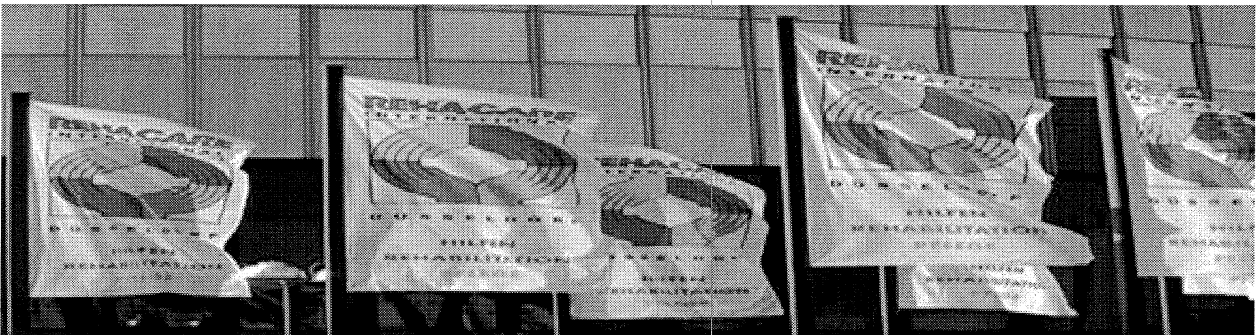




「REHACARE 2012」福祉機器展と 福祉用具を廻る地域リハケアを視察

- 世界最大の国際福祉機器展 REHACARE 2012 に参加（ドイツ・デュッセルドルフ）
- メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンの福祉用具現地セミナー（料金込・メッセ会場）
【福祉用具の安全基準・安全性の確保、製造者と介護者の責任～リスクマネジメント】
- フランス障害者モビリティ研究所(CEREMH)・国立テクノエイド評価センター（フランス）
- ベルサイユ大学システム工学研究所・ロボティクス・メカトロニクス・自動化（フランス）
- ソジャディス社(SOJADIS)・障害者用自動車搭載運転支援機器開発企業(フランス)
- 福祉用具メーカー又は販売店(ファーマシー)・供給システム（フランス）
- コートダジュールのカンヌ近郊にある最高水準のリハビリテーションセンター・
リハサービスと福祉用具・リハ機器の活用（フランス）

〔旅行期間〕	視察コース	平成 24 年 10 月 11 日（木）～10 月 18 日（木）	8 日間
	展示会コース	平成 24 年 10 月 10 日（水）～10 月 15 日（月）	6 日間
〔旅行代金〕	視察コース	20 名募集	¥428,000（燃油サーチャージ・空港税約¥89,000 が別途必要です）
	展示会コース	15 名募集	¥325,000（燃油サーチャージ・空港税約¥69,000 が別途必要です）



共同企画：公益財団法人テクノエイド協会 日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA)
コーディネーター：渡邊慎一（横浜市総合リハビリテーションセンター）
後援：社団法人日本福祉用具供給協会 社団法人日本作業療法士協会（予定）
協力：メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン (MDJ)

視察会議手配：CBRコーディネーション

旅行企画実施：株式会社 イー・ホリデーズ（観光庁長官登録旅行業第1839号[社]日本旅行業協会・正会員）

旅行受託手配：株式会社 エーアイ ジャパン（東京都知事登録旅行業第3-3710号[社]日本旅行業協会・正会員）

パンフレット作成日 2012年4月10日

■ご参加のおすすめ

我が国は、少子高齢化の進展により、介護を必要とする人の増加と介護に当たる人の高齢化等により、福祉用具の活用がますます重要になってきています。厚生労働省と経済産業省は、将来の介護人材の不足に対応するため、安全性の高い生活支援ロボット等の研究開発・実用化支援を促進しています。

当協会は昨年秋、厚生労働省の委託を受けて、福祉用具や介護ロボット等の実用化支援に資するスキームの確立を目的とする福祉用具・介護ロボット実用化支援事業を開始しました。

さて、本年も当協会では、日本福祉用具・生活支援用具協会との共同企画により、海外視察研修を企画いたしました。

昨年に引き続き、デュッセルドルフ市の世界最大の国際福祉機器展を視察するとともに、同会場ではメッセ・デュッセルドルフ主催のドイツの福祉用具事情に関する「福祉用具現地セミナー」にも参加し、福祉用具の安全基準や適合性評価などについて学習します。さらに今回は、初めての試みとして、南仏のリハビリテーションセンターやデイケア施設を訪問します。また、パリの国立テクノエイド評価センターが運営する障害者モビリティ研究所やベルサイユ大学システム工学研究所の障害者及び高齢者の移動技術や介護ロボット、障害者用自動車搭載運転支援機器等の研究開発の状況をも視察することとしています。

今回も、昨年に引き続き福祉用具の専門家である横浜市総合リハビリテーションセンターの渡邊慎一理学・作業療法課長(元厚生労働省老健局振興課福祉用具・住宅改修指導官)に、コーディネーターとして参加していただき、専門職の立場から福祉用具への関わり方と活用の実際についてご指導いただきます。

リハ・介護現場で専門職として活躍されている方、福祉用具の研究開発や製造・供給に関わられておられる方、住宅関連に関心をお持ちの方、保健福祉の行政に参画している方など多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内を差し上げております。今後のお仕事に必ずお役に立つプランと自負しておりますので、是非ご参加ください。

公益財団法人テクノエイド協会
理事長 大橋謙策

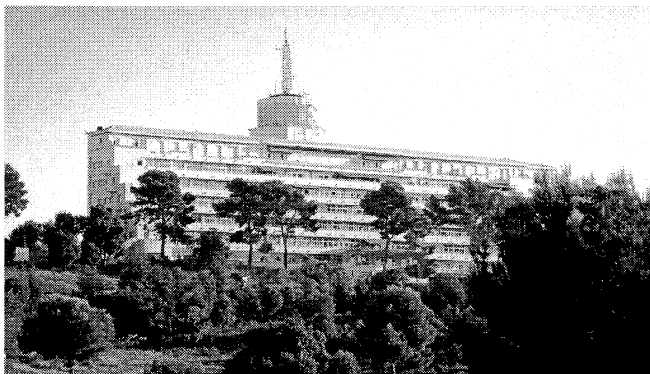
■海外研修ご挨拶

日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)では、福祉用具の安全性や利用効果等について調査研究を行うだけでなく、福祉用具に関する普及・啓発を行い、その結果として、わが国の福祉用具業界の発展に寄与する活動を行っております。

JASPA では、国内市場の開拓だけでなく、海外市場開拓のため4年間に亘りデュッセルドルフで開催される「REHACARE 展」に出展した経験もあり、日本製品について機能性、デザイン等について評価が高く、欧州においてもマーケットがあることを確認しています。今後、日本企業が海外に進出するにあたり、「REHACARE 展」において、世界各国から出展される新しい福祉用具の機能やデザインの新しい流れを視察することが非常に重要であると考えています。

今回の海外視察研修は、「REHACARE 展」の視察だけでなく、フランスでは障害者のモビリティ研究機関、福祉用具メーカーやリハビリテーションセンター、デイケア施設等の福祉の現場における福祉用具の活用状況の視察も行います。また、ドイツにおける福祉用具事情に関する現地セミナーも企画しておりますので、特に産業界からのご参加をいただきたく存じます。

日本福祉用具・生活支援用具協会
会長 木村憲司
交流部会長 池田 茂



■視察のポイント

今回の視察・研修は フランスとドイツです。フランスの社会保障については少子化対策が成功していることなどは良く知られていますが、北欧などに較べてあまり日本では紹介されていません。今回は、フランス大使館企業振興部のご協力により、大変、充実した内容となりました。エリオ・マラン・リハビリテーションセンターは、社会保険施設管理連合会

(UGE CAM)が運営する病床数 216、多くの専門スタッフが勤務する充実した施設です。CEREMHは自動車産業、地方自治体、研究機関等がメンバーとなり障害者のモビリティに関する共同プロジェクトを推進する機関で、2010 年には国立テクノエイド評価センターとなりました。ベルサイユ大学システム工学研究所では、日本での新成長戦略にも位置づけられている医療・介護ロボット等の研究・開発と障害者用自動車運転支援機器開発企業も見学します。その他福祉用具・リハ機器メーカー及び福祉用具販売店の見学をすべく交渉中であります。

国際福祉機器展／REHACARE2012について

わが国では介護保険により福祉用具はより身近なものとなりました。毎年全国各地で開催される福祉機器の展示会も多くの人々が訪れ、新しく開発された福祉用具の情報を収集しています。REHACARE2012は、世界最大規模の展示会で、世界中の優秀な福祉機器が一堂に会する場です。海外の福祉機器展と日本のそれと比較してみると、全体の雰囲気や来場者層の違いがよく分かります。展示されている福祉用具は、性能や使い勝手もさることながら、色使いやデザインの素晴らしさに圧倒されることがしばしばです。

福祉機器の支給体制

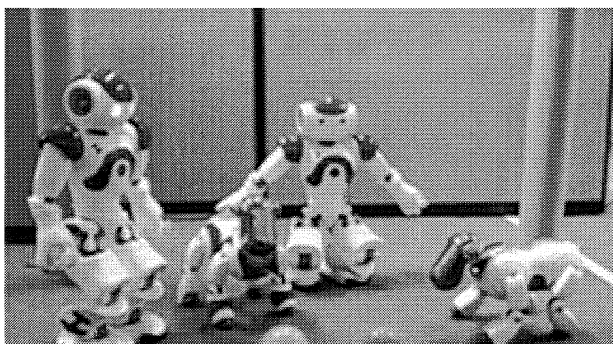
高齢者や障害者が高価な福祉用具を当たり前のように使用しているのは何故でしょうか。わが国においても介護保険や障害者自立支援法に基づく公的給付制度の見直し議論がさまざまな場で行われています。諸外国の支給体制を知ることによって、日本は今後どうすればよいかを考えるきっかけになればと思います。また、多くの国々でレンタル方式を採っていますが、地方自治体で福祉機器の貸出しから返却までの流れの実際を見ると、大いに参考になります。

コーディネーター：渡邊慎一

■コーディネーターの紹介■

渡邊慎一(わたなべ・しんいち) 1961年生まれ

- 履 歴： 横浜市総合リハビリテーションセンター 理学・作業療法課長
(元 厚生労働省 福祉用具・住宅改修 指導官)
一般社団法人神奈川県作業療法士会 会長
公益財団法人テクノエイド協会・介護保険給付対象福祉用具
情報検討委員会 委員
JAICA コスタリカ国リハ強化プロジェクト委員会 委員
- 著 書： 地域リハビリテーション・マニュアル(共著 三輪書店)
福祉用具専門相談員研修指導テキスト(中央法規出版)



「フランス訪問先の選別にはフランス大使館企業振興部-ユビフランスの協力を得ました。ユビフランスは今年 9 月に開催の HCR 2012 で合同出展を企画、フランスのテクノエイド製品関連メーカーが計 6 社出展します(予定)是非展示会ご訪問の際はお立ち寄りください。尚、公益法人テクノエイド協会及びJASPA との日仏福祉用具セミナーも計画中です。詳しいご案内をご希望の方は、貿易担当官 水田真紀(みづた・まき)氏までお問い合わせください。」

maki.mizuta@ubifrance.fr / Tel 03-5798-6119

OREHACARE2012(国際リハビリテーション・福祉機器展)

世界最大規模の国際福祉・介護機器展。障害者及び老人が快適に生活できるよう、斬新な10,000点をはるかに超えるリハビリ・福祉・介護機器が出展され年を追うごとに内容が充実し規模が拡大している。前回2011年の出展者は747社と福祉団体、障害者団体で、約47,000人を超える来場者があった。公開討論会、ワークショップ、芸術展、スポーツアクティビティが同時開催される。今回の中心になるテーマは【障害者・高齢者のADLの向上を目指して】【福祉用具に於けるロボット技術開発・特別ブース】である。過去4年間JASPAがJETRO等と協力し日本の福祉用具・リハ機器の企業約10社をまとめ出展した経緯もある。

会場: デュッセルドルフ見本市会場(Messe Dusseldorf) 会期: 2012年10月10日(水)~13日(土)

福祉用具現地セミナー(料金込み)企画者: メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン(MDJ) Dr. A. Moerke 社長

○視察先概要(視察コース・フランス)

視察先選定協力: フランス大使館企業振興部・ユビフランス、フランス障害者モビリティ研究所・Dr. P. Wagstaff 氏

柴・ミューラー勵子さん(視察通訳・ケルン在住)

■Centre Hélio Marin(エリオ・マラン リハビリテーションセンター)カンヌ

1935年に設立。運営母体は UGECAM(社会保険施設管理連合会)。コートダジュールの海岸を一望にする環境のもと、多くの専門スタッフ(整形・リハビリ医、PT、OT、リハ看護師、義肢装具士など)と充実した設備を備え、機能回復のための各種のパーソナル・リハビリテーションと退院後の社会的ケアを提供している。病床数 216 床(リハビリテーション209床、重度な脳損傷障害で人工栄養を要する患者用7床)を有する。

■CEREMH(フランス障害者モビリティ研究所)

CEREMH は、2007年に設立された非営利の協会で、障害者や高齢者のモビリティ向上に関するプロジェクトの推進、製品(テクノイド)とサービス(アクセシビリティ改善の環境整備など)の開発を行っており、2010年には国立テクニカルエイド評価センターとして公式に任命されている。フランスの大半のリハビリセンターなどの医療機関、大学等の研究機関、地方自治体、企業等がこのプロジェクトに参加し、海外の関連機関との共同プロジェクト推進にも力を入れており、日本の研究者も在籍している。中心的な活動内容は次の通り。①モビリティ改善のための製品・サービスに関する情報の提供 ②アクセシビリティに関するアドバイス ③専門家向け講習 ④製品・サービスの企画

■LISV(ベルサイユ大学システム工学研究所)

LISVは高等教育・研究省の認証を受けたベルサイユ大学のシステム工学研究所で、上記 CEREMHに隣接。研究チームはロボティクス、メカトロニクス、自動化、メトロロジーなどをテーマとした研究開発を行っており、日本を含む海外の大学と技術交流を行っている。

■SOJADIS(ソジャディス社)

ロワール地方に 1981 年に設立。自動車搭載向け組み込みエレクトロニクスシステム専門開発・製造企業である。PSA・プジョー・シトロエンを始め、大手自動車メーカーに採用されている実績があり、同分野では欧州におけるリーダー企業である。障害者への運転支援機器も提供している。今回は上記研究所にて、製品デモを行う。製品例としてライト、ワイパー、ウインター、クラクション等コマンド・スティックなどがある。

■福祉用具製造企業又は販売店

フランスの福祉用具の供給システム・サービスを学ぶべく、現在 CEREMH を通じ、パリ及び近郊の福祉用具(リハ機器)製造企業又は販売店(有カファーマシー)の見学を依頼している。

○視察先概要(展示会コース・ドイツ)

■ドイツの有料老人ホーム(Haus Schloss Park 又は Paulus Haus 他)

デュッセルドルフ近郊に複数の高齢者施設(老人ホームなど)を持つ公益法人の運営、1990年代に多くが開設され、自立高齢者棟と要介護者棟があり、居室は23~30㎡で約150室、レストラン・多目的室・チャペルなどは高級感がある。

■ザニテートハス(福祉用具ショップ)・Stortsz

Stortsz はケルンにあるヨーロッパ最大の福祉用具ショップで、福祉用具・リハ機器・整形外科用具(義肢装具)・介護用品・衣料品・健康機器など幅広い商品を扱っている。療法師・義肢装具士(マイスター)など専門家が対応。営業員は施設も担当。

REHACARE 2012 視察コース（8日間）日程表

日数	月/日	都 市 名	交通機関	時 間	ス ケ ジ ュ ー ル / 適 用	食 事
1	10月11日 (木)	成 田 発 パ リ 着 パ リ 発 デュッセルドルフ着	A F 2 7 5 A F 1 1 0 6	(09:55) 1 1 : 5 5 1 7 : 1 5 2 1 : 0 5 2 2 : 1 5	成田空港集合 エールフランス航空にてパリ乗換 デュッセルドルフへ デュッセルドルフ到着後、専用車にてホテルへ 泊:デュッセルドルフ	機内 機内
2	10月12日 (金)	デュッセルドルフ 滞 在	Uバーン		ホテルにて朝食 終日:REHACARE 展示会に参加 午後:福祉用具現地セミナー(MDJ/展示会場) 展示会コースとの合同の親睦夕食会 泊:デュッセルドルフ	朝食 夕食
3	10月13日 (土)	デュッセルドルフ 滞 在	Uバーン		ホテルにて朝食 終日:REHACARE 展示会に参加 (午後ケルン見学も可能) 泊:デュッセルドルフ	朝食
4	10月14日 (日)	デュッセルドルフ発 パ リ 着 パ リ 発 ニ ー ス 着 ニ ー ス 発 カ ン ヌ 着	A F 1 3 0 7 A F 7 7 1 4 専 用 車	(08:30) 1 0 : 5 0 1 2 : 0 5 1 3 : 0 0 1 4 : 3 0 (15:00) (19:00)	ホテルにて朝食 専用車にて空港へ 空路、パリ乗り換え、ニースへ 到着後、専用車にてニース市内見学(シャガール美術館と シミエ) 又はモノコ見学(王宮、海洋博物館)後、 コートダジュールをドライブ、カンヌへ ホテル着 泊:カンヌ	朝食
5	10月15日 (月)	カ ン ヌ 発 ニ ー ス 着 ニ ー ス 発 パ リ 着	専 用 車 A F 6 2 1 9	(14:15) 1 5 : 1 5 1 6 : 4 0	ホテルにて朝食 午前:①リハセンター(ヘリオマリン・ア・パロリス)と デイケア見学、 昼食後ニース空港へ 空路、パリ(オルリー空港)へ、到着後ホテルへ 泊:パリ	朝食 昼食
6	10月16日 (火)	パ リ 滞 在	専 用 車		ホテルにて朝食 午前:②CEREMH(障害者モビリティ研究所)及び ③LISV(ベルサイユ大学工学研究所・ロボティクス、メトロジ ーの研究開発)展示見学 午後:LISV にて ④SOJADIS 社(障害者車輛・運転支援技 術などのデモンストレーション ⑤福祉用具メーカーカ又は有力販売店・ファーマシー見学 お別れ夕食会 泊:パリ	朝食 昼食 夕食
7	10月17日 (水)	パ リ 発	A F 2 7 8	(20:00) 2 3 : 3 5	ホテルにて朝食 午前:市内見学 午後:自由行動(美術館見学など) 専用車にて空港へ エールフランス航空にて帰途に就く 泊:機内	朝食 機内
8	10月18日 (木)	成 田 着		1 8 : 0 0	成田到着、通関後解散	機内

REHACARE 2012 展示会コース（6日間）日程表

日数	月/日	都 市 名	交通機関	時 間	ス ケ ジ ュ ー ル / 適 用	食 事
1	10月10日 (水)	成 田 発 パ リ 着 パ リ 発 デュッセルドルフ着	A F 2 7 5 A F 1 1 0 6	0 9 : 5 5 1 1 : 5 5 1 7 : 1 5 2 1 : 0 5 2 2 : 1 5	成田空港集合 エールフランス航空にてパリ乗換 デュッセルドルフへ デュッセルドルフ到着後、専用車にてホテルへ 泊:デュッセルドルフ	機内 機内
2	10月11日 (木)	デュッセルドルフ 滞 在	Uバーン		ホテルにて朝食 午前:REHACARE 展示会に参加 午後:老人ホームと福祉用具ショップ(ザニテートハウス)見学・ 通訳同行・参加費用込み(13:00-17:00) 泊:デュッセルドルフ	朝食
3	10月12日 (金)	デュッセルドルフ 滞 在	Uバーン		ホテルにて朝食 終日:REHACARE 展示会に参加 午後:福祉用具現地セミナー(MDJ/展示会場) 展示会コースとの合同の親睦夕食会 泊:デュッセルドルフ	朝食 夕食
4	10月13日 (土)	デュッセルドルフ 滞 在	Uバーン		ホテルにて朝食 終日:REHACARE 展示会に参加(午後ケルン見学も可能) 泊:デュッセルドルフ	朝食
5	10月14日 (日)	デュッセルドルフ発 パ リ 着 パ リ 発	専 用 車 A F 2 2 0 7 A F 2 7 8	(14:00) 1 7 : 2 5 1 8 : 4 0 2 3 : 3 5	ホテルにて朝食 出発迄市内自由散策(美術館など、郊外見学も可能) 専用車にて空港へ エールフランス航空にて パリ乗換帰途に就く 泊:機内	朝食 機内
6	10月15日 (月)	成 田 着		1 8 : 0 0	成田到着、通関後解散	機内

- * 航空機(エールフランス)視察コース20席、展示会コース15席を確保済みです。発着時刻は変更になる事があります。
- * 通訳 視察コースは、フランス視察時2日間1人、ドイツ展示会は12日午前・13日午前1人。展示会コースは11日終日と12日午前1人
- * MDJの福祉用具セミナー費用(¥20,000)及び同時通訳代(2人)を含みます。
- * 早発ち・滞在延長・エールフランス以外の航空会社・地方発着ご希望の方は、ご相談下さい。
- * デュッセルドルフでは、アルミニウム 2012 見本市も同時開催されており、ホテルが不足しております。
シュタイゲンベルガー・パークホテルは、8月3日(金)までにお申し込み頂いた方に確約出来ます。

【募集要項】

旅行代金に含まれるサービス

- (1) 航空運賃: エコミークラス(GIT/FIT運賃)
- (2) 予定航空会社: エールフランス確保(別行動は他社便可)
- (3) 宿泊代: ホテル2人部屋。別掲のホテル又は同等クラス(4星)のホテル
- (4) バス・ガイド代: 送迎、視察時のバス代、ガイド代
- (5) 視察代: 通訳代、コーディネート、寄付、MDJセミナー、資料作成費、展示会入場券、カタログ代
- (6) その他: 企画募集型旅行保険代、ポーター代
- (7) 食事代: 日程表に明示したもの
- (8) エスコート代: 視察コース20名以上、展示会コース15名以上にエスコートを付けます

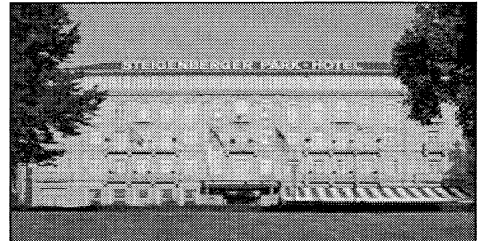
○宿泊予定ホテル

デュッセルドルフ: シュタイゲンベルガー・パーク(5星)25室確保済み
(注: 2つの国際展示会開催中にてお部屋が不足しています。)
カンヌ: アマラント・カンヌ(予定)又は4星同等クラス
パリ: プルマンツール・エッフェル・パリ(予定)又は4星同等クラス

○旅行代金: 視察コース(8日間) ¥428,000
展示会コース(6日間) ¥325,000

旅行代金に含まれないもの

- (1) 国内交通費: 成田空港までの交通費、国内乗り継ぎ運賃、前泊代金
- (2) 燃油代・空港税・保安料: 4月10日現在の予定代金を表示
- (3) ビジネスクラス
利用追加代金: ¥530,000(視察・AFの1クラスの場合)
¥480,000(展示会・AFの1クラスの場合)
- (4) 個室利用追加代: 視察コース ¥88,000
展示会コース ¥68,000
- (5) 個人的費用: 別行動費用、お酒などの飲み物代、電話代、海外旅行傷害保険代、渡航書類作成費用等)
- (6) 査証: 不要(但し帰国時まで3ヶ月の有効期限のある旅券を有すること)



【ご利用条件】

お申込みの際には、必ず旅行条件書(全文)をお受取りいただき、事前にご確認の上お申込ください。

●企画旅行契約

この旅行は(株)イーホリデー(東京都千代田区内神田1-6-3南特許ビル、観光庁長官登録旅行業1839号、以下「当社」といいます。)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。

●お申込方法と契約の成立の時期

当社所定の申込書に下記の申込金を添えてお申込下さい。申込金は旅行代金のお支払の際、差し引かせて頂きます。電話・郵便・FAXでお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いをして頂きます。旅行契約は、当社が予約を承諾し申し込み金を受領した時に成立致します。

●旅行代金のお支払

お申込み後、お申込金として、5万円の請求書をお送り申し上げます。旅行代金(残金)は9月20日(木)より前にお申込みが間際の場合は当社が指定する期日までに御支払ください。

●旅行条件

この旅行条件は2012年4月10日を基準としています。

●その他

旅行代金はお1人分を表示しています。詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので事前にご確認の上、お申込み下さい。

●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される時は、次の金額を取消料として申し受けます。

旅行契約の解約期日	旅行代金	取消料 お一人様
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって 30日目にあたる日以降3日目にあたる日まで	30万円以上	50,000円
	15万円以上 30万円未満	30,000円
旅行開始日の前々日及び前日		旅行代金の 30%
旅行開始日当日		旅行代金の 50%
旅行開始後又は無連絡不参加		旅行代金の 100%

●個人情報について

当社は、旅行申込みの際にご記入いただいたお客様の個人情報(氏名・住所・電話番号・メールアドレスなど)について、お客様との間の連絡、お申込みいただいたご旅行における運送、宿泊機関等の提供するサービス手配のための手続きに必要な範囲で利用させていただきます。

●申込締切日 2012年8月22日(水) 注: ホテル・シュタイゲンベルガー・パークは8月3日(金)までにお申し込み頂いた方には確約できます。

旅行企画・実施 株式会社 イー・ホリデー

(観光庁長官登録旅行業第1839号・日本旅行業協会正会員)

旅行受託・手配・販売 株式会社 エーアイ ジャパン (申込先)

(東京都知事登録旅行業第3-3710) <http://www.aijinc.co.jp>

〒105-0003 東京都港区西新橋1-11-8 丸万5号館ビル4階

電話: 03-3503-5677 FAX: 03-3503-5685

総合旅行業務取扱管理者 伊藤明彦 担当: 外村、里見

E-mail ito@aijinc.co.jp 又は satomi@aijinc.co.jp

視察手配(視察のお問い合わせ) CBRコーディネーション

〒225-0002

横浜市青葉区美しが丘4-22-38

TEL & FAX 045-901-7068

外村龍生

E-mail t-tonomura@coda.ocn.ne.jp

☆下段のお申込書とパスポートコピーを下記にFAXもしくはメール添付にてお送り下さい。詳細資料をお送りします。

MR	ローマ字			生年月日	昭・平	年生まれ
MS	名前				西暦	年 月 日
現住所	〒		電話:	FAX:		
勤務先名			所属先			
勤務先住所	〒					
電話番号			内線	F A X e - m a i l		
一人部屋利用	有 無	ビジネスクラス利用 プレミアムエコノミー利用	有 無	国内線利用 (ANA・JAL)	有(発着希望地:) 無	
パスポート番号			発行年月日	前泊希望		有 無